

2024年度 事業活動計画書

1. 委員会名

大学教育委員会

2. 趣旨

- ①教育内容（カリキュラム）、方法、評価の調査研究
- ②教員組織、教員の質・能力向上、教育能力・施設設備の調査研究
- ③教育に関するセミナー、ワークショップ等の実施

3. 担当理事および委員（○：委員長）

- 赤澤 千春（大阪医科薬科大学）
江川 隆子（関西看護医療大学）
原 玲子（日本赤十字秋田看護大学）
日高 艶子（聖マリア学院大学）

4. 2024年度事業活動計画

1. 研修会の開催

1) 新任教員向け研修会「私立大学とは」

- ①目的：私立大学の教職員として基本的知っておかなくてはならない考え方や、教育課程、私立大学法改革に至る経緯や置かれている現状について学ぶ。
- ②講師：島袋 香子 氏（北里大学）
- ③日時：2024年8月3日（土）
- ④開催方法：（当日）会場開催、Zoom ウェビナーを用いたライブ配信（講演のみ）
（後日）オンデマンド配信

⑤プログラム：

（午前の部）

- 10:00～10:10 開会挨拶
10:10～11:10 講演「私立看護系大学を理解する」
講師：島袋 香子 氏
11:10～11:20 質疑応答
11:20～12:20 休憩（1時間）
（午後の部）※午後の部は会場開催のみ
12:20～13:20 グループワーク
13:20～14:15 発表・質疑応答
14:15～14:20 閉会挨拶

2) 喫緊の課題についての研修会

「看護系大学における特別な支援を必要とする学生への教育支援の実際」

- ①目的：特別な支援を要する発達障害傾向の看護学生の特徴や具体的な教育支援の実際を学び、教職員に必要な能力を向上させるための示唆を得る
- ②講師：西村 優紀美 氏（元富山大学 保健管理センター 客員准教授）
ファシリテーター：安酸史子（日本赤十字北海道看護大学）、日高艶子（聖マリア学院大学）、小浜さつき（聖マリア学院大学）、北川明（順天堂大学）
- ③日時：2025年1月頃
- ④開催方法：（当日）会場開催、Zoom ウェビナーを用いたライブ配信（講演のみ）
（後日）オンデマンド配信

⑤プログラム：

（午前の部）

- 10:00～10:10 開会挨拶
10:10～11:10 講演

11:10～11:30 質疑応答
11:30～12:30 休憩
(午後の部) ※午後の部は会場開催のみ
12:30～13:30 事例検討会
13:30～14:25 発表・質疑応答
14:25～14:30 閉会挨拶

2. 看護学教育教材開発の助成事業の実施に向けた検討
3. 教員組織、教員の質・能力向上、教育能力・施設設備の調査研究

5. 今後の展望 (2024年度～2025年度)

看護学教育を取り巻く社会の変化が激しい中、長期的な事業活動は具体的な計画を立てにくい状況にある。情報化の変化への対応や新カリキュラムの運用に関する情報を共有し、教育方法の工夫や開発による「教育の質」の更なる向上のための長期計画へと発展させていく年度としたい。又、本協会の会員校である私立大学のもつ多様なニーズを把握し、私学の特色を生かした事業を企画していく必要がある。

2024年度 事業活動計画書

1. 委員会名

研究活動委員会

2. 趣旨

- ①教員による研究費獲得の向上、学術研究の推進に関わる活動
- ②研究助成と研究ネットワークづくり
- ③研究に関するセミナー、研修会等の実施

3. 担当理事および委員（○：委員長）

- 麻原 きよみ（聖路加国際大学）
香春 知永（武蔵野大学）
中新 美保子（川崎医療福祉大学）
○野末 聖香（慶應義塾大学）

4. 2024年度事業活動計画

1) 研究助成公募および審査

研究助成事業規程、研究助成事業規程施行細則、研究助成募集要項に則って公正かつ迅速に研究助成事業を運営する。

- ・看護学研究奨励賞：20件程度
- ・若手研究者研究助成：15件程度
- ・国際学会発表助成：10件程度

公募期間：2024年4月1日～5月20日

選考会議：7月14日（日） Web会議

2) 学術研究および学術研究体制に関する事業

研究セミナー

①若手研究者研究助成成果報告

15分程度の音声付パワーポイントを土日を含む3日間、本協会ホームページに掲載し、質問はメールで受け付ける。

②講演

テーマ：EBN リサーチエビデンスをどう実践に活かすか

目的：看護のベストプラクティスを目指し、研究で明らかにされたエビデンスを実践にどのように活用するか、具体的な方法やアプローチについて学ぶ

日時：9月7日（土）13：00～

開催方法：Zoom ウェビナーを用いたライブ配信、オンデマンド配信

講師：片岡 弥恵子 先生（聖路加国際大学）

プログラム：講演 90分、質疑応答 20分

5. 今後の展望（2024年度～2025年度）

- ①会員校における看護学研究者の育成のために適正で公正な研究助成事業を推進する。
- ②会員校の教職員のニーズに沿ったセミナーの開催について検討し、研究セミナーを開催する。

2024年度 事業活動計画書

1. 委員会名

国際交流委員会

2. 趣旨

- ①看護における教育、学術及び文化の国際交流を通して、将来国際的に関連機関との連携協力及び援助に繋がるための方策の調査研究
- ②看護界の動静と看護学教育の国際交流の現状と将来についての講演会等の実施

3. 担当理事および委員（○：委員長）

櫻井 しのぶ（順天堂大学）

○田村 由美（日本赤十字広島看護大学）
（委員）

中村 敦子（日本赤十字広島看護大学）

若林 律子（順天堂大学）

4. 2024年度事業活動計画

1) 研修会の開催

1. テーマ：「これからの国際交流—グローバルな看護人材の育成の現状と展望—」（仮）
2. 目的：カリキュラムの過密さや渡航費用の高騰、国際情勢の不安定により看護学生の国際交流が難しくなっている現状を踏まえ、真のグローバル人材についてどのような将来像を描いて育成するのかの示唆を得る。
3. 内容：検討中
4. 開催日時：10月から11月
5. 開催方法：Zoom ウェビナーを用いたライブ配信、オンデマンド配信
6. 講師：2名（検討中）
7. プログラム：講演と質疑応答

- 2) 先駆的な国際交流活動を行っている大学の視察調査等に関する助成事業（2～3件）
モデル事業の実施

5. 今後の展望（2024年度～2025年度）

国際的に活躍できる看護人材の育成にむけた看護学教育のあり方について、情報交換と交流を推進し、グローバル社会のニーズに対応する国際看護教育のあり方及びカリキュラムの体系化について議論を深める。また、地域や医療現場だけではなく、大学においても多様な文化を背景に持つ教職員と相互理解を深め、共に働くために必要な人材育成の展望に向けた議論を進めていく。

2024年度 事業活動計画書

1. 委員会名

大学運営・経営委員会

2. 趣旨

- ①私立看護系大学の振興に必要な国、地方公共団体又は民間からの補助金、寄付金、その他の支援が可能になるような実態調査・分析
- ②大学運営・経営の向上に繋がる事業を展開するための方策の調査

3. 担当理事および委員（○：委員長）

井上 智子（国際医療福祉大学）

棚橋 泰之（神奈川歯科大学短期大学部）

長澤 正志（淑徳大学）

○百瀬 由美子（日本赤十字豊田看護大学）

4. 2024年度事業活動計画

1) 研修会

1. テーマ：学生募集に効果的な大学のブランディングを高めるための戦略
2. 目的：
3. 開催日時：2024年10月21日（月）
4. 開催方法：Zoom ウェビナーを用いたライブ配信、オンデマンド配信
5. 講師：1名は専門家の先生、1名は株式会社進研アド
6. プログラム：
13:30～13:40 開会
13:40～15:10 講演 1
15:10～15:20 休憩
15:20～16:50 講演 2
16:50～17:00 閉会

2) 4年制大学の教育等に関する実態調査の実施と報告書の作成（JANPUとの合同）

調査期間：2024年10月～12月（予定）

3) 短期大学の教育等に関する実態調査の実施と報告書の作成

調査期間：2024年10月～12月（予定）

5. 今後の展望（2024年度～2025年度）

- 1) 4年制大学および短期大学の教育・危機管理等に関する実態調査結果から、4年制大学および短期大学の運営・経営改善に関する方策を提案する。
- 2) 大学運営・経営に関する研修会を企画し、学校法人の経営戦略等についての情報を発信する。

2024年度 事業活動計画書

1. 委員会名

渉外委員会

2. 趣旨

- ① 本法人の発展のため外部の組織に働きかけ、看護教育並びに看護専門職としての充実・発展に必要な国の制度や法令、文教行政や予算、高大連携についての確かな情報収集と分析・整理
- ② 文部科学省、厚生労働省関係、日本学術会議をはじめ、日本看護系大学協議会、日本私立大学協会、日本私立学校振興・共済事業団、中央教育審議会、大学設置・学校法人審議会等諸機関の活動状況の把握をし、必要な提携・協力及び支援活動を企画・実施
- ③ 啓発活動のためのセミナーの実施

3. 担当理事および委員（○：委員長）

- 坂本 真理子（愛知医科大学）
○島袋 香子（北里大学）
長澤 正志（淑徳大学）
三国 久美（北海道医療大学）

4. 2024年度事業活動計画

- ① 文部科学省、厚生労働省、日本学術会議をはじめ、日本看護系大学協議会、日本私立大学協会、日本私立大学連盟、日本私立学校振興・共済事業団、中央教育審議会、大学設置・学校法人審議会等の活動状況の把握をし、現状への認識及び今後の方針について理事会に報告する。
- ② 関係諸団体と関係を深め、情報交換、意見交換するとともに、連携・支援に向けた働きかけをしていく。
- ③ 看護の問題、看護政策の実現に向けて、政府、所轄省庁等へ要望書を提出する。
- ④ 日本看護系大学協議会の高等教育行政対策委員会及びAPN グランドデザイン委員会への参画を継続する。
- ⑤ 会員校の抱える問題について関係諸団体と協働し実態把握に努め、文部科学省、厚生労働省等関係省庁と情報を共有し検討する。

5. 今後の展望（2024年度～2025年度）

関係諸団体の活動状況の把握をさらに進め、必要な提携・協力及び支援活動を企画・実施に移す。

2024 年度 事業活動計画書

1. 委員会名

広報委員会

2. 趣旨

- ① 本法人の目的の達成に寄与するため会報・その他刊行物の発行
- ② 会員校への情報伝達及び会員校間の情報交換
- ③ 本法人の活動の外部への PR のためのホームページ企画運営

3. 担当理事および委員（○：委員長）

- 鎌田 佳奈美（摂南大学）
濱中 喜代（岩手保健医療大学）
○守田 美奈子（日本赤十字看護大学）

4. 2024 年度事業活動計画

1) 会報第 51 号・52 号の発刊と第 53 号の企画

- (1) 会報第 51 号は 2024 年 5 月上旬に発刊
 - ① 2023 年度事業活動報告
 - ② 会員校の特色ある取り組みの紹介
 - ③ 理事会報告
 - ④ 事務局からのお知らせ
- (2) 会報第 52 号は 2024 年 11 月上旬に発刊
 - ① 会長挨拶
 - ② 新規会員校紹介
 - ③ 社員総会付帯事業講演会の内容
 - ④ 会員校の特色ある取り組みの紹介
 - ⑤ 2024 年度研究助成事業の選考結果報告
 - ⑥ 役員一覧
 - ⑦ 社員総会・理事会報告
 - ⑧ 事務局からのお知らせ

(3) 編集

原稿の依頼や原稿の受取は原則メールで行う。

(4) 配布部数

会員校：1 校 50 部、関係団体：約 130 部

(5) 会報第 53 号の企画

2025 年 5 月上旬の発刊に向けた記事構成等の企画

2) ホームページ

- ・ 年に 4 回ホームページの保守管理業者との会議を行い、ホームページの利用状況を定期的に分析し現状を把握する。出された課題に対する改善策を検討しホームページの改善に努める。
- ・ 英語ページのさらなる充実を図る。
- ・ 看護の魅力を社会、受験生、保護者などに伝える PR 活動

3) 2023 年度年次報告書の発刊

2024 年 7 月初旬に発刊

5. 今後の展望（2024 年度 ～ 2025 年度）

1. HP に関する定期的な業者との打ち合わせ会議を継続すると同時に、迅速かつ適切な情報配信を行うことで HP の充実を図る。
2. ニュースレター発行（年 2 回）を継続すると同時に、さらなる紙面の充実を図る。
3. 協会全体の計画と方針を基に看護の魅力を社会に発信するための広報活動の検討を行う。
4. 英語ページのさらなる充実を図る。

2024年度 事業活動計画書

1. 委員会名

将来構想検討委員会

2. 趣旨

①本法人の役割と機能の強化に向け、私立大学としての課題と看護学教育及び看護学研究の具体的な課題の明確化と今後の方向性について具体的方策の提案

3. 担当理事および委員（○：委員長）

鎌田 佳奈美（摂南大学）

坂本 真理子（愛知医科大学）

○三国 久美（北海道医療大学）

（委員）

河口 てる子（聖隷クリストファー大学）

4. 2024年度事業活動計画

1) 本協会の役割と機能の強化に向け、私立看護系大学がもつ具体的な課題の明確化と今後の方策について方向性を提案する。

2) 私立看護系大学将来構想研究機構（仮称）の設置に向けた検討

5. 今後の展望（2024年度～2025年度）

会員校は、看護の質向上や人材育成だけでなく、地域住民の健康支援を行う役割を担っており、感染症の流行や災害等の発生時には住民の健康危機に対応すべく尽力している。会員校の更なる連携と協力を推進させるために求められる本協会の事業活動を検討する。

また、少子化の進行に伴う志願者の減少など私立看護系大学を取り巻く厳しい現状がある。私立看護系大学がもつ課題を明確にし、今後の方策や本法人のあり方を検討することを目的とした私立看護系大学将来構想研究機構（仮称）の設置を検討する。

2024年度 事業活動計画書

1. 委員会名

地区活動委員会

2. 趣旨

- ①地区活動を通じたネットワークづくりにより、私立看護系大学の協働体制を進め、安定した看護学教育の推進
- ②私立看護系大学が共有する課題に協働して取り組む活動への助成事業の実施
- ③看護学の発展を担う人材を確保する活動のための助成事業の実施

3. 担当理事および委員（○：委員長）

坂本 真理子（愛知医科大学）
○島袋 香子（北里大学）
長澤 正志（淑徳大学）
三国 久美（北海道医療大学）

4. 2024年度事業活動計画

会員校の地区における協働を進め、看護学教育の発展に寄与する新たな活動の在り方を探索することを目的とし、各地区の会員校の協働活動に助成を行う。

①地区会議の開催

当番校（理事所属校あるいは会員校の輪番制）が企画を担う。会議の前にあらかじめ問題提起（事例紹介）し、出された諮問について、各校が回答を準備して意見を交換する。共通のテーマについて他大学の見解を具体的に聞き共に考える。

②会員校の連携による地区活動への助成

モデル事業の実施

5. 今後の展望（2024年度～2025年度）

地区活動の在り方を検討する。